

地域とともに育つ コミュニティ・スクール

令和6年10月24日

成田市教育委員会

学校運営協議会は、法的な根拠をもつ合議体（複数の構成員の合議によってその意思を決定する組織体）になります。学校の様々な課題に対して、解決に向けて熟議を行うことができます。各学校で協議会が開催されており、共通の目標に向かって子どもたちと一緒に育てていくための具体策を出し合い、話し合いを積み重ねております。それぞれの学校において、学校・地域の特色を生かした取組を行い、子供たちの教育活動の充実や活性化を図れるよう、地域全体で地域の子どもたちを育てる体制づくりを進めております。

学校運営協議会の様子



それぞれの学校でどのような協議がされているのか、紹介いたします。

大栄みらい学園

教育活動の工夫や学年集会の様子について、協議が行われました。

●教育活動の工夫について

→学習を通して経験したことを、社会に出た時にどう生かしていくかが大事ではないか。

例えば、自分たちで作ったお米を給食の献立に活用してもらったり、販売活動に発展したりと、米作りを通して、農業について理解したり、社会にどう関わっているか・関わっていくかを考えてたりすることができるよう工夫をしていくとよいという具体案が出されました。

●学年集会の様子について

→先輩方の話を聞く機会を設けたり、集会の内容を保護者へ発信したりと、共有することで、生徒への関わり方の共通理解ができるのではないかという意見が出されました。

成田中学校

PTAバザーについて協議が行われました。

●本年度5年ぶりにPTAバザーを開催するが、本年度の取組内容や今後の取組方法についてご意見をいただきたい。

→目的を明確にし、共通理解して取り組むことが大事。本年度実施して今後の取組方法を検討していくとよいのではないかという意見が出されました。

本年度の取組の中で、入場できる方の条件や販売の時間、校舎内外の安全面での配慮すべきことについて、共通理解を図りました。特に、安全面についての配慮については、一般の方が使用できる場所や侵入禁止箇所をわかるように掲示等をするとうい提案が出されました。

●学区における生徒の様子・環境について

→各地区の生徒の様子や自転車の乗り方について、情報共有し、地域とともに生徒を育てていくことのよさを生かしていきたいとお話がありました。また、地域や学校周辺の環境整備についても話題となり、地域の協力を得ながら働きかけていくとうい意見も出されました。